

# 親子聖書日課

[日]教会が成長する為には、様々な奉仕をする「便利屋牧師と便利屋信徒」が増えることよりも、「祈りと御言葉の奉仕に専念」する牧師と信徒が増ることで。その為には、聖書日課に励み、「信仰と聖霊に満ちて」主に仕える人になることです。

[月]7章はユダヤ議会におけるステファノの説教が記されています。彼は執事でしたが、いざという時には立派に説教ができました。「信徒説教」の模範です。証しする機会が与えられたなら、彼のように物怖じせず、福音の核心を語りましょう。

[火]モーセは民を救おうとしたのに、民は理解せず、殺そうとしました。主はそれ以上の方ですが、主が裁くために来たと錯覚した民は、主を殺したのです。主は私達の罪の裁判官ではなく、罪を赦す解放者ですから、主にこそ助けて頂きましょう。

[水]冷暖房のある会堂は快適ですが、民が「命の言葉」を頂いたのは、冬は寒く、夏は暑い、居心地の悪い「荒野の集会」でした。まさに旧会堂のようです。私達の人生にも荒野があります、そこで主を礼拝する時、命の言葉に与れます。

[木]ステファノの最後は、十字架の主とそっくりです。聖霊に満たされると、主の心が与えられ、主のように歩めます。この姿がパウロを、主の下へ導くのです。主の証人とは、「小さなキリスト」になること、そのために、自分を捨て、主に従いましょう。

[金]どの店でも、愛、喜び、平安、命は売っていません。お金では買えないからです。それらは「神の賜物」ですから値段がつけられないほど高価です。ただ「神の偉大な業」主の十字架と復活を信じるなら頂けます。主の言葉を力強く証しましょう。



[土]聖書は一人で読んでもよく分かりません。それは教会宛に書かれたからです。誰かが「手引きをして」説明すれば分かります。フィリポのように「分かりますか」と尋ね、分からない所は教えましょう。又、宦官のように、恐れずに何でも聞きましょう。

NO.1966 2026.5/31-6/6

名前

	聖書	問題	答え
日	使徒言行録 6:1-15	使徒たちは何と何の奉仕に専念することにしましたか。	
月	7:1-16	神はヨセフを離れず、何から助け出しましたか。	
火	7:17-36	モーセを神は指導者、また何としてお遣わしになりましたか。	
水	7:37-53	この人(モーセ)がどこにおいて、命の言葉を受けましたか。	
木	7:54-8:3	主よ、この罪を彼らにどうしないで下さいと、ステファノは叫びましたか。	
金	8:4-25	お金で手に入れられないものは何ですか。	
土	8:26-40	宦官はどうしてくれる人がいなければ分かりませんと、言いましたか。	
感想と祈りの課題			